

## 交付申請にあたってのお願い事項

## ～ORION 入力について～

本補助金は、原則、各救急告示医療機関にて大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）に入力いただいた 10 月末までの救急搬送患者報告（病院後情報）を基に、年度末までの対象症例件数を見込み、申請いただいております。

事業終了（年度末）後に御提出いただく実績報告書の検査を行う際は、府（医療・感染症対策課）が ORION 上のデータと突合した上で額を確定し、補助金を交付いたします。

**■ORION 入力状況をご確認ください**

救急告示医療機関は、告示認定基準として、救急医療情報システムに参画し、別に府が示すマニュアルに基づき必要な情報入力を行う必要があることから、ORION の救急搬送患者報告（病院後情報）についても適切に行われている前提のもと ORION データを取り扱っています。したがって、本補助金の実績確認において、申請様式上の件数と ORION 上の件数を突合して差異があった場合は、ORION 上の件数を正として取り扱うこととしており、入力内容に疑義がある場合は本補助金の対象とすることができません。

この点、毎年、下記の例のように入力誤りと推測されるデータが散見されますので、日頃のデータ入力時はもとより、本補助金の申請にあたって改めて御確認いただき、誤りのないようお願いいたします。

## 【入力誤りと推測されるデータの例】

初診時患者背景	年齢（歳）
小児（整形外科・脳神経外科）	87
要介護状態（要介護2以上）	389

**■実地検査の対象となる場合があります**

本補助金は、国庫も含む公金（地域医療介護総合確保基金）で賄われるものであり、補助事業は会計検査院の実地検査の対象となるものです。

本補助金の対象症例は、以下のとおりですので、データの入力及び登録や補助金申請にあたっては御留意ください。

対象症例
（ア）要介護状態の高齢者（85 歳以上）【 <u>要介護2以上</u> 】
（イ）精神疾患患者における 119 番の要請原因が身体症状による事案
（ウ）整形外科、脳神経外科の協力を必要とする小児傷病患者（15 歳未満）
（エ）まもって NET 事案
（オ）吐血・下血で搬送された傷病患者
（カ）万博会場から転院搬送等された傷病患者

※（ア）は R7 から年齢を 65 歳から 85 歳に引き上げ

（オ）（カ）は R7 から新たに追加

今後は、実績報告書受領後に実地検査を行うことがありますので、御協力のほど、よろしくお願いいたします。